

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、22.5～25℃台を示し、やや低い～やや高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、カタクチイワシが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり1トンの水揚げで、前週の1.4倍（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。

- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり6kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり220kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり57kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり3.2トンの水揚げで、前週の2.1倍（前年並み）。

- 定置網――北松生月地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり1.3トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり390kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり500kgの水揚げ。

- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり379kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年を下回った）。北松小値賀地区では、イサキが1日1統当たり37kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり13kgの水揚げで、前週の72%（前年を下回った）。

- 延縄――北松小値賀地区では、キダイなどが1日1統当たり46kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（6/20～6/22）3日間の沖合イカ釣り船、船凍船は、赤イカ漁及び日本海（大和堆及び周辺海区）へ全船出漁した。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～山形沖～秋田沖～青森沖～北海道西沖にかけて出漁した。

境港基地の小型イカ釣り船 入港情報なし。

（漁業情報サービスセンターより）